

令和8年 西区内の火災・救急概況(西消防署)

R8.1.1～ R8.5.31

2026年度全国統一防火標語

「火の確認 いい日を支える いい習慣」

区分/年別	令和8年	令和7年	増△減	
火災件数	12	9	3	
火災種別	建物火災	11	7	4
	車両火災		1	△1
	船舶火災			
	林野火災			
	その他の火災	1	1	
焼損床面積(m ²)	168	22	146	
死者	1	1		
負傷者	2		2	
主な原因	電気機器	3	2	1
	配線器具	2	1	1
	ストーブ	1		1
	放火(疑い含む)	1	1	
	電灯・電話等の配線	1		1

区分/年別	令和8年	令和7年	増△減	
救急件数	4,154	4,382	△228	
主な内容	急病	2,840	3,065	△225
	交通事故	112	107	5
	一般負傷	844	868	△24
	その他	358	342	16

連合町内会別火災発生状況			
連合/年別	令和8年	令和7年	増△減
第一地区		1	△1
第二地区	2		2
第三地区		3	△3
第四地区	4		4
第五地区	4	2	2
第六地区		1	△1
みなとみらい地域	2	2	

※速報値ですので、確定したものではありません。

【1か月間の火災状況(5月1日～5月31日)】

※5月中 合計1件(建物火災:1件)
・高島町二丁目(店舗)

※消防瓦版※

暑さに少しずつ体を慣らし、**熱中症**を防ぎましょう。

日頃の予防と適切な判断が、救急車の適正利用につながります。

「あんしん救急」を意識し、夏前に備えを確認しましょう。



熱中症を防ぐ **3** つの習慣 屋内外を問わず重症化することがあるため、日頃の予防が大切です。

水分補給

喉が渇く前に、こまめに水分を取りましょう。

暑さを避ける

日陰や日傘を活用し、無理な外出は控えましょう。

休憩と睡眠

炎天下ではこまめに休み、普段から十分な睡眠を取りましょう。

令和7年 横浜市内熱中症救急搬送状況



あんしん救急とは

もしものときに助けが届くように、救急車を正しく使うための合言葉です。皆さんの思いやりが救急を支えます。

STEP 1 予防

元気なうちにしっかり備える

運動で元気な体を保つ、休日や夜間に受診できる病院を確認しておくなど、日頃のちょっとした備えが安心につながります。

STEP 2 相談

困ったときは、まず相談

救急車を呼ぶべきか迷ったときは、**#7119** に電話しましょう。症状に応じて、受診の必要性や医療機関を看護師が伝えます。

STEP 3 通報

こんな時こそ急いで救急車

明らかに緊急性が高いと思ったら、ためらわず119番通報してください。

緊急性が高い症状やその他「あんしん救急」の詳細は

